

吉野川の竹林のあり方を考える ～吉野川水辺利用シンポジウムの開催～

【ポイント】

- ・日時：平成22年2月20日（土） 13:00～16:30
- ・場所：「四国三郎の郷」交流体験室
（徳島県美馬市美馬町字境目39-10）
- ・定員：100名程度
- ・事務局：国土交通省 徳島河川国道事務所
- ・備考：当日参加可。但し人数把握のため、事前に申込みをお願いします。（2/10（水）必着）

【概要】

- 吉野川では、水害防備林としての竹林が、現在もなお多くの箇所で存在し、吉野川固有の河川景観を形成しているとともに、動植物にとって良好な環境となっています。
- こうした竹林は、各地域での資源ではありますが、築堤が進んでいく中で、水害防備林としての役割を終え、地域から疎遠な存在になりつつあり、また、竹林が荒れて行く状況にあります。
- そこで、この竹林を、地域の方々と連携・協働し、適正に管理・保全しながら、より良い地域の資源として地域づくりに役立てるための意見交換と啓発を目的に、吉野川水辺利用シンポジウムを開催します。

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

TEL：088-654-2211（代表） TEL：088-654-9175（直通）

副所長

もりなが
森長

みのる
稔

内線206

◎地域連携課長

いわもと
岩本

やすひろ
康宏

内線381

◎：主たる問い合わせ先

吉野川水辺利用シンポジウム ～吉野川の竹林のあり方を考える～

平成22年1月27日
徳島河川国道事務所 地域連携課

1. 開催日時

平成22年2月20日(土) 13:00～16:30

2. 場所

「四国三郎の郷」 交流体験室
美馬市美馬町字境目39-10 Tel: 0883-55-2002

3. 開催趣旨

吉野川では、水害防備林としての竹林が、現在もなお多くの箇所が存在し、吉野川固有の河川景観を形成しているとともに、動植物にとって良好な環境となっており、築堤後においても保全に努めているところです。

こうした竹林は、各地域での資源ではありますが、築堤が進んでいく中で、水害防備林としての役割を終え、地域の方々から疎遠な存在になりつつあり、また、竹林が荒れて行く状況にあります。

そこで、この竹林を、地域の方々と連携・協働し、適正に管理・保全しながら、地域の資源として地域づくりに役立てるための意見交換と啓発を目的に、今回「吉野川水辺利用シンポジウム」～吉野川の竹林のあり方を考える～を企画しました。

4. 定員 100名

5. 実施内容

(1) 基調講演(13:10～14:00)

講師：豊田市矢作川研究所 主任研究員 洲崎 燈子
テーマ：「川辺のタケとどうつきあうか? ～矢作川からの報告～」

(2) パネルディスカッション(14:25～16:20)

テーマ：「吉野川の竹林の保全と活用を考える」
コーディネーター：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授・徳島大学地域創生センター副センター長 山中 英生
パネリスト：NPO代表：美馬体験交流の会理事長 田中 義美
NPO代表：サアーやらんで大楠21代表 川原 勝市
技術開発：バン(株)代表取締役社長 大西 和男
学識者：豊田市矢作川研究所主任研究員 洲崎燈子
地元行政：美馬市役所経済部次長 宮田 英治
話題提供：河川管理者 徳島河川国道事務所

吉野川水辺利用シンポジウム ～吉野川の竹林の あり方を考える～

吉野川固有の河川景観を生み出している竹林について、
地域の方々と連携・協働し、適正に管理・保全しながら、
より良い地域資源とするため、シンポジウムを開催します。

日時

平成22年2月20日(土)

受付開始 12:30 / 開会 13:00 / 終了 16:30(予定)

会場

四国三郎の郷 交流体験室

徳島県美馬市美馬町字境目39-10

定員

100名

入場
無料

駐車場
無料

(当日参加可。但し人数把握のため、事前に申し込みをお願いします。)



美馬市脇町付近の竹林の様子

お問い合わせ先

国土交通省
地域連携課

四国地方整備局 徳島河川国道事務所
TEL : 088-654-9175 FAX : 088-654-9177

～吉野川の竹林のあり方を考える～

日程ご案内

- 開会 13:00
- 基調講演 13:10～14:00
『川辺のタケとどうつきあうか？～^{やはぎ}矢作川からの報告～』
講師 洲崎燈子（豊田市矢作川研究所）
- パネルディスカッション 14:25～16:20
『吉野川の竹林の保全と活用を考える』
- 閉会 16:30

パネルディスカッション

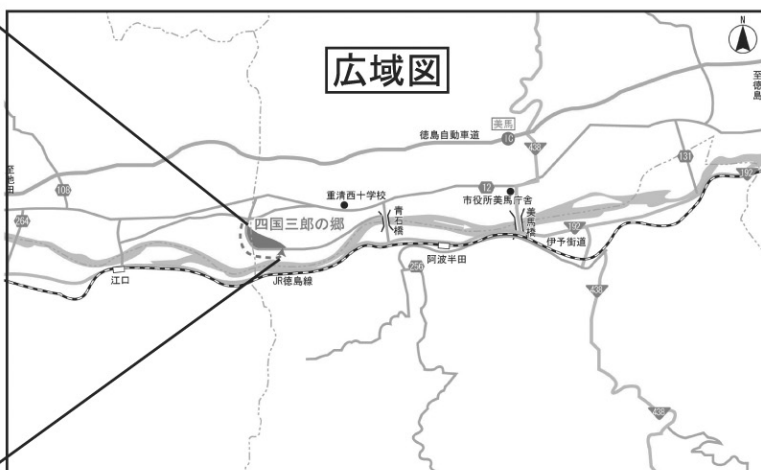
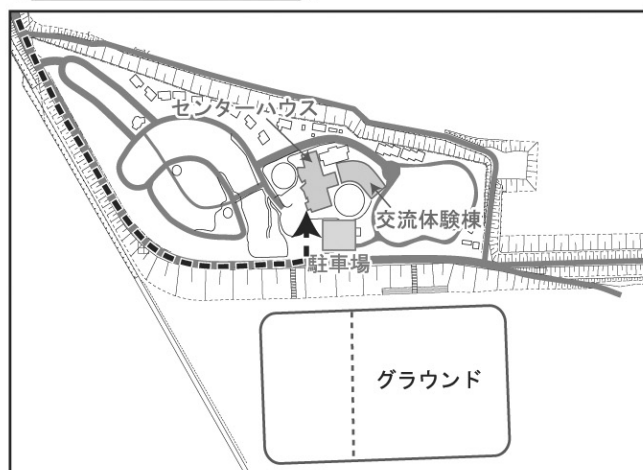
『吉野川の竹林の保全と活用を考える』

コーディネーター
山中英生（徳島大学大学院
ソシオテクノサイエンス研究部教授）

パネリスト
田中義美（NPO法人美馬体験交流の会理事長）
川原勝市（NPO法人サアーやらんで大楠21代表）
大西和男（バン(株)代表取締役社長）
洲崎燈子（豊田市矢作川研究所主任研究員）
宮田英治（美馬市役所経済部次長）

話題提供
徳島河川国道事務所

会場案内図



吉野川水辺利用シンポジウム「吉野川の竹林のあり方を考える」

申込書 FAX、郵送用 FAX番号：088-654-9177

2月10日(水) 必着

1.氏名(所属) [参加者全員]	()
	()
	()
	()
2.お住まいの市町村名	

- ①ハガキ、Eメールの場合は必要事項【氏名、所属、市町村名、シンポジウム名】を記載し、下記までお申し込み下さい。
②会場までは、各自でお願いします。

<送り先・お問い合わせ先>

〒770-8554

徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課「吉野川水辺利用シンポジウム」係

HPアドレス <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

電話：088-654-9175（直通） FAX：088-654-9177

Eメールアドレス：tokusa63@skr.mlit.go.jp（←すべて半角小文字）